

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光国際係
■評価事業名称	北上・西和賀観光連絡協議会負担金(事務局事務含む)			
■事業開始年度	昭和54年度			
■評価事業コード	060200 - 053	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	北上・西和賀地域の観光・物産事業の振興、観光誘客の促進による地域活性化。西和賀・北上味めぐりフェスタの開催。□わて銀河プラザ等の各種物産展出店。圏域ぐるみ観光支援事業実施。観光誘客事業。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	北上・西和賀観光連絡協議会負担金(事務局事務含む)	協議会・会員12団体	銀河プラザ物産展1回 首都圏物産展1回 東北管内1回 県内2回 雪活用イベント3回 市内物産展1回、プレゼントキャンペーン2回、DM発送2回、 総会1回開催	○総会開催1回 ○観光物産展 ①銀河プラザ1回 ②雪活用イベント(東京)3回 ③物産出展(東京)1回 ③市内・県内観光物産展等1回 ④仙台1回 ○誘客促進 広告3回

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	725	744	1,692	1,339	
人件費	2,420	3,426	4,130	3,892	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,145	4,170	5,822	5,231	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	事業実施回数	9回	7回	12回	8回	総会、観光物産PR事業
	観光物産展等のPR回数	7回	6回	5回	7回	県内・県外PR回数

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

観光物産展1回あたりコスト	449千円	695千円	1,165千円	748千円	フルコスト÷事業実施回数
物産展の開催及びイベントにおける物産販売額	2,280千円	1,383千円	1,850千円	750千円	出展者の売り上げ集計
事業実施1回あたりコスト	349千円	596千円	486千円	329千円	フルコスト÷事業実施回数

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

首都圏及び仙台において物産販売を行い、北上・西和賀のPR

### 問題点・課題等

雪プロモーションの収入と経費が見合わない

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

雪プロモーションについて観光での効果が薄いことから、協議会事業の位置づけではない形での実施を検討。協議会事業については役割分担の明確化。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了